

中間市教育委員会

定例教育委員会会議録

(平成28年12月)

- 1 日 時 平成28年11月30日(水) 午前10時00分
- 2 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
- 3 出席委員 河本委員長 中尾委員 衛藤委員 齊田委員 増田教育長
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席者 濱田教育部長 片平学校教育課長
森学校教育課指導室長 古賀生涯学習課長
田中教育総務課長 小林教育総務課総務係長
- 6 傍聴人 2人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定例教育委員会議事日程

平成28年11月30日（水）午前10時00分

- 1 会議録の承認
 - 1 11月定例教育委員会会議録
 - 署名委員（中尾委員 衛藤委員）

- 2 報告事項
 - (1) 平成28年12月学校教育行事及び社会教育行事について
 - (2) その他

- 3 協議事項
 - (1) 平成28年11月定例教育委員会の開催について
 - (2) その他

- 4 議決事項
 - (1) 第25号議案 平成29年度中間市県費負担教職員の人事異動方針について
 - (2) 第24号議案 平成29年度中間市県費負担教職員の人事異動取扱要領について

[開会時刻：午前10時00分]

河本委員長	これより平成28年12月の定例教育委員会を開催いたします。 最初に、付議事項に入ります。お手元に、11月の議事録があると思いますが、何かおありの方はどうぞ。
各委員	ありません。
河本委員長	では、承認ということでよろしくお願ひいたします。 次に、報告事項に移ります。最初に平成28年12月学校教育行事及び社会教育行事について、学校教育行事からご説明をお願ひいたします。
片平学校教育課長	はい。22日木曜日は2学期の終業式です。2学期の給食は20日で終了いたしますが、中学校は午後からも部活動がありますので、21日は簡易給食を提供いたします。小学校行事ですが、全小学校で国語と算数の標準学力調査を実施いたします。対象は全学年です。なお、西小学校については予定表に記載されていませんが、7日を予定しているところです。中学校行事ですが、全中学校で三者面談が予定されております。これは、全学年で実施する予定としております。以上です。
河本委員長	このことについて、ご質問などおありの方はどうぞ。
衛藤委員	いいですか。
河本委員長	はい。お願ひいたします。
衛藤委員	ひとつは、共通行事の中で明日1日、中間市人権教育講演会というのがあります。毎年人権週間にちなんで4者で講演会を開いている分だと思ひますが、内容的には社会教育行事予定表に書いてある人権問題講演会と同じものという理解でいいですか。
片平学校教育課長	はい。その通りです。
衛藤委員	それともう1点は、今頃気が付いて申し訳ないんですが、3日に南小学校の土曜授業でマラソン大会がありますよね。これは多分、朝から午前中くらいまでは確実にかかる学校行事だと思うんですが、いつも土曜授業の

時は、教職員の勤務の振替はされてなかったのかなと。これは勤務の振替なしの授業ということになるのかどうか、そのあたりをお尋ねしたいと思います。以上です。

片平学校教育
課長

はい。土曜授業につきましては、教職員の勤務の振替は冬休み、長期休業中に行います。

衛藤委員

はい。わかりました。ということは、振替はあるということですね。

片平学校教育
課長

はい。

衛藤委員

はい。わかりました。

片平学校教育
課長

ただ、土曜授業ですので、日曜日に授業を行うというような趣旨での振替、生徒の休みを月曜日にとるとか、そういったことはございません。

衛藤委員

年に1回か2回実施する土曜授業のひとつになるわけですね。

片平学校教育
課長

はい。そうです。

衛藤委員

はい。わかりました。

河本委員長

他に何かご質問などおありの方はどうぞ。

各委員

ありません。

河本委員長

ひとつ私からお話したいんですが、この前、買い物をした後に横断歩道の所で中学生の女の子が立ち止まっていたので、先に行きなさい、と合図すると、渡った後に振り返ってちゃんと挨拶をしたんですよ。以前にも、中間市内の中学校出身の高校生だったんですが、子猫がうろうろしているのをすごく心配した男の子がいて、「大切な命だから」と交番に届けるといことがあったんです。

私たちは今年度中学校の学校訪問をして、学力だけでなく挨拶や道徳といったところに対してもすごく力を入れているなと思ったんですが、そういう指導をしていて、現場の先生たちがなかなかうまくいかないと思っていらっしやるかもしれないし、生徒が良いことをした場面を先生方は実際

には見るできないと思うんですが、こうして生徒が学校外で礼儀正しくしているということをお伝えしていただきたいし、先生たちの指導が成果として出ているんだということを伝えていただきたいと思います。

また、最近いじめのことがテレビで取り上げられていますが、いじめが起こるのは交通事故と一緒に、防ぐことはできないと言われてますし、いじめが起きること自体は仕方がないとしても、その後の先生の対応というのがとても大切になると思います。それによって生徒が自殺するような学校も出てきていますので、そういうことのないようにしっかりした対応をお願いしたいです。特に、先生が注意したときは一時的におさまるらしいのですが、それがおさまった後で先生に隠れてさらなる悪質ないじめが起きることもあるらしいんです。木登りでも、高い所にいるときは意外と落ちないが、下に降りて来て安心したときほど注意すべきという説を聞いたことがあります。いじめがおさまっている時ほど先生たちは注意して、生徒ひとりひとりの様子をみていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

他に何かおありの方は。

各委員

ありません。

河本委員長

それでは、社会教育行事に移ります。

古賀生涯教育
課長

はい。

河本委員長

ご説明お願いいたします。

古賀生涯教育
課長

それでは12月の社会教育行事について、予定表に沿ってご説明いたします。まず、2ページの中央公民館ですが、1日にきらめき大学閉講式と併せまして、人権問題講演会を夕方6時から8時まで行います。講演者はmonさんという女性で、ご本人も障がいがあり、またお子様を亡くされた経験から「うまれてきてくれてありがとう」という題で講演されます。4日曜日、「親子凧作り教室」を婦人の家で行います。この日作られた凧は1月22日に市役所前河川敷で開催される「第36回ふるさと遠賀川親子凧揚げ大会」で披露されます。23日金曜日「県子連カルタ大会」がございます。主催は県子ども会育成連合会で、公民館の和室で約40名が参加して行われます。

次に生涯学習センターの予定です。3ページをお願いします。生涯学習

センターはご覧の通り行事が多くありますので、後ほどご確認ください。

それでは、5ページのなかまハーモニーホールの予定をご説明いたします。18日日曜日、ホワイトクリスマスコンサートということで、和田悌さんのピアノコンサートが開催されます。大人500円、子ども300円で全席自由席です。

次に中間市民図書館の予定についてご説明いたします。6ページでございます。3日に、今春旭日小綬章を受章されました村田喜代子さんの講演会があります。14時から16時までとなっております。10日土曜日は年忘れ落語会ということで、北九州演芸クラブの方が5名お見えになりまして、落語と南京玉すだれの芸を披露されるということです。

7ページの体育文化センターの予定をご説明いたします。多くの事業は体協ミズノグループで行われます。すみません、ひとつ記載漏れで、18日日曜日は空欄になっていると思いますが、ここでは今お手元に資料をお配りしております「2016年中間市スポーツの祭典」を実施します。今年度の新規事業で、いろいろなスポーツを楽しもうということで、9時から17時まで行われます。以上で説明を終わります。

河本委員長

はい。このことについて、何かご質問などおありの方はいらっしゃいませんか。それでは、ないということですので、次に移ります。

報告事項、その他何かおありの方はどうぞ。

森指導室長

11月9日に行われました「第3回ベストラントライアルinなかま」と、11月26日に行われました「平成28年度中間市英語暗唱コンテスト」の件についてご報告いたします。

まず「ベストラントライアルinなかま」の結果についてでございます。お手元に主な結果の一覧をお配りしておりますのでご覧ください。この日は気温が下がりがちで、条件としてはあまり良くなかったのですが、子どもたちがそれぞれベストを尽くして走る姿がみられたと思います。その結果、女子50m走では1位が東小学校の児童で8.3秒でした。これは大会記録タイで、第1回で記録された大会記録に並びました。それから第2位が8.5秒で中間小学校の児童と、西小学校の児童でした。男子50m走では1位が8.0秒で中間小の児童と、南小の児童の2名でした。3位には8.1秒で西小の児童が2名入りました。ちなみに男子の大会記録は7.9秒ですので、それには少し届きませんでした。320mリレーでは、女子の部で1位が西小学校、2位が東小学校、3位が南小学校と中間小学校でした。西小学校のところに「大会新記録」と書いてありますが、実際

には、3位の間小、南小もこれまでの大会記録を超える成績であったということで、大変すばらしい記録だと思います。それから男子の部では1位が中間小学校、2位が西小学校、3位が南小学校という結果でした。各学校でそれぞれにこの大会を目指して練習を積み重ねておまして、その成果が発揮されていたと思います。講評いただいた中間高校陸上部顧問の先生からも、バトンパスの技術が向上していると高い評価を頂いております。また、教育委員の皆様におかれましては、大変寒い中でしたけれども、最後までご声援いただきまして本当にありがとうございました。

続きまして、「英語暗唱大会」の結果についてです。こちら結果一覧をお配りしておりますのでご参照ください。最優秀賞には、1年生は中間中の生徒、2年生は東中の生徒、3年生は東中の生徒が選ばれております。また、優秀賞として、1年生と2年生はそれぞれ南中の生徒が、3年生は北中の生徒が選ばれております。審査員特別賞や奨励賞についてはご覧のとおりでございます。

今回は、中間市の英語教育の取り組みを紹介するスライドショーを上映したり、ALTの講話を入れたりして、内容のさらなる充実を図りました。各中学校から多くの生徒も参加して、大会を盛り上げてくれました。また、中学校はもちろん、小学校の先生方も多数参加してくださり、大変多くの方に見守られながら、生徒たちは本当にすばらしいスピーチを披露してくれました。生徒にとっても価値ある経験になったのではないかと考えております。北九州教育事務所の指導主事の先生からも、大変レベルの高いスピーチだったという講評をいただいております。今後、中間市における英語教育充実のひとつの大きなきっかけになるのではないかと考えております。こちらにつきましても、教育委員の皆様におかれましては、ご多用の中参加いただきまして本当にありがとうございました。以上でご報告を終わります。

河本委員長

はい。このことについてよろしいですか。

衛藤委員

いいですか。

河本委員長

はい。

衛藤委員

大変素晴らしい大会に参加させていただきました。ありがとうございました。

これは出来るかどうか分からないんですが、中間市の英語教育の紹介と

いうことで、動画を流されましたよね。

森指導室長

はい。

衛藤委員

あの動画で、中間市がいかに英語教育に力を入れているかがよく分かるので、インターネット等で発信できるような形がとれないものかと思いました。ただ小学校1年生の分、あれは学校に行かれて撮られた分でしょうから、インターネット上に掲載するのは難しいかもしれませんが、1年生から英語教育をやっている学校もあるんだという紹介で、保護者が見たときに大変良いと思いますので、発信ができるように工夫していただければありがたいなという感想を持ちました。あのまま眠らせるのはもったいないという気がいたしましたので、なんとか工夫ができないものかと思いました。以上です。

片平学校教育
課長

その件につきましては、私も動画を配信してPRしたいと考えておりますが、まず肖像権の問題、それから放映されたテレビ番組を録画して流しましたので著作権の問題、あと子どもたちの姿を映す中で音楽を流しているのも著作権の問題、ものすごくハードルが高い問題があります。そういったところがクリアできれば、流していきたいと考えております。

河本委員長

もったいないですね。

衛藤委員

あの動画を上映したということは、そういった部分はクリアされているものだと思っておりました。そうでないと、不特定多数の人が見たわけですからね。不特定多数の人が見るときにはすべてのことがクリアされていないと放映できないからです。それは当然されていると勝手に理解していたものですから。

片平学校教育
課長

テレビ局からは、暗唱大会会場という小さい場所で上映するということで了承をとっております。また、子どもたちの顔については、狭い場所に限られた人数に対して上映するというので保護者の方に許可を得て実施したところでございます。

河本委員長

そうなんですね。もったいないですね。

増田教育長

委員長。今、衛藤委員から素晴らしいご意見をいただきまして、現在、

ホームページで動画の配信等は検討していませんが、英語教育についてはまたPRしていきたいと思います。どういう形にするか検討します。

河本委員長

わかりました。

当日、北九州市在住で英語科を卒業した、英語に大変関心を持っている私の友人が見に来てくれていたんですが、とても公立とは思えないレベルの高さだったことに感心しておりました。そして、先生たちの声援や、ALTの先生などが発表している子に対して「頑張れ。頑張れ。」みたいなジェスチャーを送りながら温かく見守っているところがとても素晴らしかった、本当にうらやましい、自分も授業を受けたいくらいだと動画を見ておっしゃっていました。やはり、これだけのことをやっているのに発信ができないというのはもったいないですから、ぜひ検討をよろしく願いいたします。

他に何かないですか。よろしいですか。それでは報告事項は他にありませんか。

濱田教育部長

はい。12月議会について報告いたします。日程は11月29日から12月13日までの15日間でございます。一般質問につきましては、小林議員より「学校における施設整備の充実及び効果について」「中学校の英語教育の充実について」、中尾議員より「小中学校のトイレの洋式化について」、掛田議員より「中間市の少人数学級教育の取り組みについて」という質問をいただいております。

また、昨日開催されました議会初日におきまして、人事案件2件が承認されております。教育長に増田 俊明氏を、教育委員に坂口 充笑氏を任命するものでございます。以上でございます。

河本委員長

よろしいですか。このことについて、ご質問などありませんか。

その他、報告事項おありでしたらどうぞ、

古賀生涯学習課長

はい。11月19日、福岡県民体育大会の中で実施された市町村対抗福岡駅伝の結果をお知らせいたします。出場60チーム中、中間市は38位で、去年の47位よりまたぐんと上位にきております。躍進賞2位をいただいております。東中から2名、北中から2名の生徒の参加がありまして、ご協力いただいております。

それともう1点、中間市PTA連合会の主催であります、12月1日の15時30分から特別会議室におきまして、「スマホサミット」が行われま

す。スマートフォンの使い方、またルール作り等について協議されると思います。お時間が許せば、ぜひご参加をお願いいたします。以上です。

増田教育長

この「スマホサミット」には、各中学校から生徒会長をはじめ4名ずつの生徒も参加します。4中学校全部が集まって、PTAと一緒にになりながらスマホの使い方等について方向性を出していこうという会議で、PTAが主催して積極的に動いてくださっています。教育委員会も一緒にになりながら、小中学生におけるスマートフォンの使い方のルール作りについて方向性をつけていきたいと思っています。

河本教育長

確かに、スマートフォンは一步間違ふといじめにもつながりますし、学力向上の妨げにもなってきますので、とても大切なことだと思います。よろしくをお願いいたします。

その他、報告事項おありの方はいらっしゃいますか。

片平学校教育
課長

はい。昨日29日に東京で、中間南中学校の藤原校長が文部科学大臣表彰を受賞されています。教育者表彰ということで、毎年各県から2、3名表彰されるというものでございます。非常に名誉ある表彰だと思います。

河本委員長

そうですね。他に報告事項おありでしたら。よろしいですか。

衛藤委員

11月17日から18日にかけて、高知市で市町村教育委員会研究協議会が行われました。委員長と私と中尾委員、それに事務局職員の4名で参加しましたので、私が代表で報告したいと思います。もし、追加等がありましたら委員長、中尾委員から補足をよろしくお願いいたします。

1日目は、高知県立県民文化ホールにて実施されました。会場は満席ではなく、空席が多い感じがしましたので、500名前後の参加者であったと思います。行政説明、基調講演、パネルディスカッションと3つの内容で行われました。

行政説明では、文科省の企画官が「初等中等教育を取り巻く状況について」として「新教育委員会制度」、「学習指導要領の改訂」、「教員の資質向上」、「今後の学校運営の在り方」、「学校現場の業務改善」、「児童・生徒への支援」、「学校事故対応に関する指針」について取り上げ、ポイント的に説明をされました。

その中で、特に力を入れて説明があったと私が感じたのは、学習指導要領の改訂の中で、これからは「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何がで

きるようになるか」までを見据えて、子どもたちに力をつけさせなければならぬということです。それから、今まであまり言われてこなかったんですが、今年は文科省が5歳児教育について考えていく、という言い方をされたような気がいたします。

「教員の資質向上」では、具体的にどういう形になるか分かりませんが、校長及び教員の資質の向上に関する指標を改めて出すということ、10年経験者研修の見直しを図ることについて言及されました。

「今後の学校運営の在り方」では、「チーム学校」として在り方を考えていくということが言われました。この「チーム学校」という言葉は、説明の中で何度も何度も出てきました。文科省は、教職員だけの構成ではなくて、スクールカウンセラーとか、あるいはソーシャルワーカーとか、事務職員とか、地域の協議体を巻き込んだ、地域のコミュニティとしての「チーム学校」というものをイメージされているような気がいたしました。

基調講演では、放送大学の教授が「チーム学校」構想の背景と「チーム学校づくりの課題」というタイトルで講演されました。ここでも「チーム学校」ですね。今までの学校は教員の頑張りや犠牲に支えられ、児童・生徒の同質性が高い教育でしたが、これからは、それが多様化、複雑化、困難化していくだろうと。そういう状況を乗り越えるためには「チーム学校」として機能させていかないと無理だということです。やはり、学校教職員にかけられた負担をもっと軽減して、みんなで支える学校づくりを目指すことが必要ではないかという問題提起をされました。

パネルディスカッションでは、パネリストとして千葉大学教授、高知県香美市教育長、それから先ほど話しました文科省の企画官が参加されました。テーマは「チーム学校～学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かってはばたく子どもたちの育成のために～」ということで、学校における具体的な取り組みが挙げられました。特に私が印象に残っているのは、「チーム学校」というのは寄せ集めではダメだと、それぞれ集まった方々が「チーム学校」の必要性を感じながら、具体的にどう繋がっていくかということをお互いが共有しないと「チーム学校」作りは困難だということです。それに関連して、高知県香美市では「よってたかって教育」の取り組みについて、具体的な事例が出されました。

それから、そういった考えは理解できるが、今の教職員定数だと「チーム学校」へ取り組むのは無理である、文科省はそこをどう考えているのかという質問が出ました。文科省は、教員定数の改善や学校指導体制の基本的な考え方について紹介はされましたが、それ以上の具体的なことについては言及されませんでした。要は文科省に頑張ってもらわないと、やはり

定数の問題がネックになるという質問や意見が出ていました。以上が1日目の内容です。

2日目は分科会が行われ、私は第2分科会に参加しました。テーマは「校種間の連携・協働の推進」ということで、小中一貫教育に関する内容でしたが、広島県呉市と高知県梶原町の事例が紹介されました。呉市では、いわゆる「中1ギャップ」、中学1年生になると急にいろいろな問題が発生する、それをどう乗り越えていくか考えた時に、小中一貫教育の中でしか乗り越えられないのではないかといいるところから、小中一貫教育をスタートしたという報告がされておりました。平成19年から実施しているそうですが、具体的にどういうところが変わったかといいますと、学力が上がり、暴力が1/4に減り、中学1年生の不登校が半減したという話をされておりました。呉市においては今のところうまく進んでいるということでした。

学校によって、小中の校舎が同じ校庭内のところもあれば、小学校と中学校の距離が2kmほどの距離があるところもあるそうです。その場合でも小中一貫教育という形で実施しているという話でした。

高知県梶原町では、これは呉市もそうですが、小学1年生から4年生までを前期、小学5年生から中学1年生までを中期、中学2年生から3年生までを後期と、3段階に分けているということでした。梶原町では、中学3年生が小学1、2年生に絵本の読み聞かせをしたり、小中合同で卒業式や体育会をやったりしているそうです。同時に、これからは国際人を育てなければならないという観点から、中学生になると、オーストラリアやイギリスへ海外研修に行っているという話をされておりました。

最後に、助言者の方がおっしゃったのですが、「中1ギャップ」について非常に感心があり調べたところ、興味深い結果が出たということで、その内容が大変印象に残りましたので記録してきました。5月時点での、小学6年生と中学1年生のかばんの重さを調べたところ、小学6年生は5.1kg、中学1年生は8.2kgあったそうです。3kgも多いんですね。それからもうひとつ、教科書の厚みがどれくらいか調べたところ、小学5年生は5.5cm、中学1年生は10.8cmあったそうです。そういった違いが「中1ギャップ」として出てきているのではないかと、具体例として示されておりました。こうした問題は、義務教育全体で解決していかなければならないということで整理をされました。以上でございます。早口で申し上げましたが申し訳ありません。

河本委員長

このことについては、よろしいですか。ありがとうございました。

それでは他に報告事項はありませんか。ないということですので、次に

協議事項に移ります。平成29年1月定例教育委員会の開催について、ご提案をお願いいたします。

田中教育総務課長 はい。1月の定例教育委員会は、1月5日木曜日の10時から第1委員会室でお願いしたいと考えております。

河本委員長 よろしいでしょうか。

各委員 はい。

河本委員長 はい。では、よろしくをお願いいたします。
次に、協議事項その他おありでしたらどうぞ。ありませんか。
それではないということですので、議決事項に移ります。第25号議案平成29年度中間市県費負担教職員の人事異動方針について、ご説明をお願いいたします。

片平学校教育課長 はい。第25号議案平成29年度中間市県費負担教職員の人事異動方針についてですが、9ページをご覧ください。福岡県教育委員会の県費負担教職員人事異動方針にのっとり、本市教育の充実発展を図るため、公正かつ適正な人事異動を次の方針によって行います。1つは、適材適所を旨として、教職員構成の適正化と充実を図ります。2つ目は、人事の刷新を図ります。3つ目は、他市郡との交流を広め、広域人事の推進に努めます。4つ目は、県教育委員会と十分に協議を行い、有能な管理職の任用に努めます。この方針を決定することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項第4号の規定により、教育委員会の議決を求めます。以上です。

河本委員長 はい。このことについて質問などおありでしたらどうぞ。

各委員 ありません。

河本委員長 ありませんか。それでは承認ということよろしいですね。

各委員 はい。

河本委員長 はい。それでは次に、第26号議案平成29年度中間市県費負担教職員

の人事異動取扱要領について、ご説明をお願いいたします。

片平学校教育
課長

はい。続きまして、第26号議案平成29年度中間市県費負担教職員の人事異動取扱要領についてです。市内公立小学校及び中学校の教職員の異動につきましては、平成29年度中間市県費負担教職員の人事異動方針に基づき、11ページにあげております取扱要領に従い、職員構成の適正化と充実、広域人事について、他市郡間の交流の推進と県教育委員会の示す人事異動取扱方針を踏まえ、適切にして円滑な異動の実施に努めるよう取扱要領に示しております。この取扱要領を決定することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項第4号の規定により、委員会の議決を求めます。

河本委員長

このことについて、質問がおありの方はどうぞ。

衛藤委員

いいですか。

河本委員長

お願いいたします。

衛藤委員

内容そのものに全く異議はないんですが、採用についてお願いというか要望です。ひとつは、私もすべての先生の情報を知っているわけではないんですが、今年は講師の先生が教員採用試験にかなり合格していて、福岡県での任用を望んでいるという話を数人から聞くんですよ。中間市に2、3年在籍して、いろいろと勉強して力をつけて頑張っている講師の先生が、今度は立場を変えて新任となるときに、県教委の人事方針に従って異動されることになると思いますので、中間市に残れないという現状があるんじゃないかなと。中間市で育てた人間が中間市に残れないというのは、市にとってマイナスかなという気がします。何人ほど合格されたか私も具体的な数字は知りませんが、頑張っているなあと思っていた若い先生が採用試験に通っているようですから、その先生たちはぜひ中間に残ってほしいし、そういうふうに考えている市町村も結構あるだろうと思うんですよ。ところが採用に関してはどうしても県教委の考えになりますのでね。極端に言ったら、自分のところで育てた人間をなんで自分の所に残してくれないのかと。だから、新任者の採用についてはどこかで強く要望していただくように、よろしく願いしたいです。

それからもうひとつは、これも県教委の問題ですが、非常に講師が多いと。講師が多いから悪いというわけではありませんが、やっぱり今、学力

向上をメインとして、県も中間市も力を入れて取り組んでいるわけですので、講師の先生は採用試験も受けないといけない、自分の勉強もしないといけない、子どもの指導もしないといけないということで、どうしても無理な部分が出てきますから、講師の人数を減らして正規の教員を配置してほしいです。基準定数内はそういう対応をはかれるように、やはり県教委が当然いろいろな形で努力するべきだと考えますので、どこかで強く意見を述べていただきたいと思います。

増田教育長

はい。今、衛藤委員からいただいた要望ですが、まだ最終的な人数は分かりませんが、中間市で頑張っていた講師の先生方が何人か合格しているということで、講師の先生方も本人の希望を県に申し出ると思いますが、我々も中間市で講師を経験された先生方についてはぜひ中間に配属してほしいということを県にしっかりと申し入れていきたいと思えます。

それと2点目の非常勤講師が多いということですが、中間市も教員が定数配置されていない定数欠が非常に多く、その欠員を講師にお願いする形をとっております。学力を上げるためにも、学校生活の指導上でも、講師と正規の教員では力のちがひがあると思えます。この件については、これまでも県に強く要望しておりましたし、1月26日に県の教育長や幹部と意見交換する場がありますので、そこでも定数配置するように強く要望してまいりたいと思えます。

河本委員長

はい。よろしくお願ひいたします。

その他、質問がおありの方はいらっしやいませんか。いいですか。

他に何かありませんか。よろしいですか。それでは、これで平成28年12月の定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

各委員

ありがとうございました。

[閉会時刻：午前10時49分]